

中学校版「SOSの受け止め方指導プラン」

- 1 ねらい 話の聴き方の大事な点を考え、相談のロールプレイを行うことで、悩みの受け止め方について理解できるようにする。
- 2 準備 ワークシート 掲示物 ストップウォッチ（ロールプレイの時間計測用）
- 3 展開

過程 (時間)	主な学習活動 ☆：生徒の反応反応	指導上の留意点及び支援 (T 1：担任、T 2：SC等外部講師)
(3分)	1. 「相談について理解しよう」で学習した「相談のしづらさ」を振り返り、本時の課題を確認する。 ・「相談のしづらさ」を振り返る。 ・「相談するなら、誰にするか」を考え発表し、その後「その人は、自分にとってどんな人か。」を考える。	・黒板に「相談のしづらさ」を提示することで、相談する人の不安を理解できるようにする。 ・「相談する人」を考えることで、本時の課題を確認し、信頼関係の必要性を意識できるようにする。
	めあて：「悩みの受け止め方」について理解しよう。	
(10分)	2. T 1とT 2の相談例を見て、話の聴き方の大事な点を考える。 ・グループになり、メモした内容を共有する。 ☆目を見ている。 ☆繰り返している。 ☆頷いている。 ☆相手の気持ちを、分かろうとしている。	・T 1とT 2の2回の寸劇を見比べて、話の聴き方の大事な点をメモをとりながら、考えることができるようにする。 〈ロールプレイの例〉 教室の座席で座って落ち込んでいる友達に、声を掛ける。 〔1回目〕 声を掛けるが、立ったまま、聞き流す。気持ちに寄り添わず、強引にアドバイスして去って行く。 〔2回目〕 声を掛ける。隣に腰を掛けて、頷いたり、相手を見たりして傾聴する。 ・近くの人と話の聴き方の大事な点を共有することで、多くの大事な点に気付けるようにする。 ・全体で話の聴き方の大事な点を確認することで、ロールプレイの視点を明らかにする。
(20分)	3. グループで相談のロールプレイを行う。 ・3人グループ（①相談をする人②相談を聴く人、③観察する人）で行う。	・1回目は「一生懸命勉強したのに、思った通りの点が取れなかった」2回目は「先輩や友達との人間関係で嫌なことがあった」ことを相談する。 ・机はどかして、行った方がやりやすい。

	・ロールプレイ後、相談を聴く人のよかった点を伝える。(1分程度) ・相談を聴く人は、グループの人に言われた自分の聴き方のよかった点を、ワークシートに書く。 ☆笑顔で聴いてもらえると、安心感がわくね。 ☆頷くと、よく聴いている様子が伝わるね。 ☆気持ちを受け止めてくれると、ホッとするよ。	・時間は2～3分を目安として、T1が計測して、終了を指示する。 ・3回目を行う前に、疑問に思ったことや質問がないか確認する。 ・3回目は特に設定をせず、自由に悩みを相談とすることで、様々な悩みを受け止める必要があることを理解できるようにする。 ・全体で確認した大事な点とよかった点もメモすることで、傾聴の大切さが理解できるようにする。 ・グループで、相談する役、聴く役、相談を見て感想を言う役を交代しながら行うことで、全員が相談を受け止める体験を味わえる機会を設定する。 ・ロールプレイ後、「どんな態度や言葉が、気持ちを受け止めてもらったと感じることができたか」を話し合うことで、気持ちを受け止める大切さを実感できるようにする。 ・生徒のロールプレイ後、受け止めきれない相談の場合はどうするかという話題を取り上げ、そういうときはどうするかを考えるように促すことで、大人につなげる必要に気付かせる。
(10分)	4. T2の話聞く。 ☆アドバイスをしなくても、気持ちに寄り添えればいいんだ。 ☆相手の目線に合わせるだけで、安心するんだな。 ☆自分では受け止めきれない相談が来たら、SCにも相談してみよう。 5. T1の話聞く。 ☆相談されて、一緒に考えて分からなかったら、先生や信頼できる大人に言おう。	[T2からの話] ・相談を聴く人は、傾聴し、無理にアドバイスをする必要はないこと。(自己決定を援助する役割) ・聴き方の技術だけではなく、気持ちを受け止めること。 ・受け止めきれない相談は、周りの信頼できる大人に相談したり、つなげたりする必要があること。 ・まわりの人に言いふらすのと信頼される大人に相談することは同じではないことを伝えることで、友達だけでなく、家族や先生も一緒に考えてくれる味方になってくれることを理解できるようにする。
(7分)	6. 授業内容の振り返り、感想を書く。	・「今後、どのように相談を受け止めたいか」を踏まえて、授業の感想を書くように伝える。

「悩みの受け止め方」を理解しよう

年 組 番 名前()

1 「悩みの受け止め方」で大事なことは何か？

自分の意見

友達の意見

2 「悩みの受け止め方」ができるかな？

Let's ロールプレイ！

ロールプレイをして、友達から褒められたことを書きましょう。

☆今日の学習のまとめ！分かったことや今後に向けて、
どうしていきたいかを書きましょう！

Let's ロールプレイ!

設定その1

太郎くんは、学校で習った内容がよく分からないまま授業を受けていました。太郎くんはおとなしい性格で、分からないところを友達や先生に聞くことができないまま、だんだん授業について行けなくなっている気がしてきています、特に数学がよく分かりません。数学の先生は「分からないところがあったら、いつでも質問に来て下さい。」と言ってくれますが、どこが分からないのかも分からないので、どう質問したらよいかも分かりません。はてさて、どうしたらよいかと途方に暮れているところを、声を掛けられました。

設定その2

次郎くんは、同じ部活動の仲がよい友達5人で行動していました。練習試合やグループ分けも、5人で一緒に行動することが多かったのです。ところが先輩が引退して、自分たちが試合に出る機会が増えると、少し皆の様子が変わってきました。試合に出られるようになり、部活動に一生懸命に取り組もうという仲間と、そこまで一生懸命にやらなくてもいいじゃないかと考える仲間が出てきたのです。次郎くんも試合に出る機会が増えてきたので、一生懸命やろうと思っています。しかし、出られない友達は不満をこぼし、部活動をサボりたいと言っています。友達との関係を崩したくないし、はてさて、どうしたらよいかと頭を抱えているところを、声を掛けられました。